

日本農業気象学会 2006 年度第 4 回理事会議事録

日 時：2007 年 7 月 6 日(金) 13 時～18 時

場 所：東京大学農学部 7 号館 A 棟 7 階 生物・環境工学セミナー室

出席者：清野，早川，青木，井上，荊木，大原，大場，大政，奥島，蔵田，小林，
長野，真木，宮田

欠席者：浦野，岡田，菅野，後藤，菅谷，高見，武政，田中，横山，王

[配布資料]

- 1) 2006 年度日本農業気象学会第 4 回理事会（総務理事）
- 2) 日本農業気象学会 2006 年度第 3 回理事会議事録(案)（庶務理事）
- 3) 庶務関係資料（庶務理事）
- 4) 2006 年度第 5 回編集委員会議事録（編集理事）
- 5) 2007 年農工大における合同大会準備の進捗状況（合同大会実行委員会）
- 6) 農業気象国際シンポジウム(ISAM 2008)開催趣意書（案）（同組織委員）
- 7) 「日本農業気象学会 2008 年度大会」および「農業気象国際シンポジウム ISAM2008 賛助のお願い」（同組織委員会）
- 8) 気象・生物・環境計測器ガイドブック（Web 版）に関する企業ヒアリングメモ（Web 版計測器ガイドブック編集委員会）
- 9) 関東支部の活動について（青木理事）
- 10) 普及・教育特別委員会報告（青木理事）

I. 前回議事録の確認

2006 年度第 3 回理事会（2007 年 4 月 4 日）の議事録(案)を承認。

II. 報告・連絡事項

2.1 庶務関係（宮田理事）

- 1) 日本農業工学会総会（2007 年 5 月 11 日）に佐瀬代議員が出席。日本農業気象学会が推薦した上村賢治会員がフェロー顕彰を受けた。
- 2) 日本地球惑星科学連合第 5 回評議会（2007 年 5 月 22 日）に，評議員（会長）の代理として鳥谷委員が出席。地理学分野の参加に関する意見交換で，同連合ではすでに工学と理学が共存しており，地理学分野も積極的に参加してほしいとの意見が出された。
- 3) 学術著作権協会学術会に現況調査報告書を提出した（2007 年 5 月 10 日）。
- 4) 日本技術者教育認定機構（JABEE）に退会届を提出した（2007 年 5 月 24 日）。
- 5) 特許庁より，発明の新規性喪失の例外規定の適用を受けるための手続きについての通知を受領。出願人が規定の書類を提出すれば，研究集会開催者の証明書を不要とする制度改正が行われたが，従来の手続きでの出願も可能なので，引き続き，出願人への協力を願いたい，との要請があった。
- 6) 水文・水資源学会より「風に関するシンポジウム」（2007 年 6 月 21 日）の当日に行われた運営打ち合わせの報告を受領。打ち合わせへの出席は 4 学会。アンケート調査の結果は，2 学会を除いて継続を希望。
- 7) 日本流体力学会による「日本流体力学会年会 2007」（2007 年 8 月 6 日～8 日）を協賛する。

- 8) 「第3回国際O-CHA学術会議」(2007年11月2日～4日)を後援する。
- 9) 岩手大学農学部主催の「盛岡高等農林学校 関豊太郎教授記念シンポジウム「地球温暖化は「サムサノナツ」をなくすのか?」」(2007年9月19日)を共催する。
- 10) 日本農学進歩賞の受賞候補者推薦依頼があった。
- 11) 日本農業研究所賞の受賞候補者推薦依頼があった。
- 12) 第11回尾瀬賞の募集に関する案内を受領した。
- 13) 平成19年度(第29回)沖縄研究奨励賞の候補者推薦依頼があった。
- 14) 国際会議出席渡航申請に関して、2年分の会費を納入していれば申請資格があることを確認した。

2.2 総務関係(大原理事)

- 1) 農業環境工学系学会連盟に対し、合同大会参加に関する覚書を提出した。
- 2) 役員選出規程「選挙管理委員は、庶務担当理事を含む3名の正会員で構成され」は、会長指名理事のなかに庶務理事を2名置き、うち1名を選挙管理委員専任とすることで、規程と実態との整合性を図ることとした。
- 3) 2006年度情報電子化委員会により、学会ホームページのリニューアルが実施された(2007年6月11日)。
- 4) 日本農学会より、創立80周年記念事業に伴う加盟50学協会の個別史(各論)の執筆依頼があり、真木前会長に対応を依頼した。
- 5) 農業環境工学関連2006年合同大会(札幌)実行委員会より、同大会の事業報告書が提出された。
- 6) 学会賞審査委員長より、2006年度学会賞(学術賞、普及賞)の審査結果について報告があった(2007年7月2日)。論文賞、奨励賞は審査中。
- 7) 永年功労会員表彰審査委員長より、2006年度永年功労会員表彰の審査結果について報告があった(2007年6月18日)。
- 8) 来年の総会は3月に開催されるので、次回の学会賞、永年功労会員表彰の審査を繰り上げ、9月末を候補者申請の締め切りとする。
- 9) 2007年合同大会期間中の諸会議の日程は次のとおり。

評議員会	9月11日13～15時
総会	9月11日15～17時
第1回理事会	9月12日18～20時

2.3 会計関係(奥島理事)

民営化に伴う支部会等の郵便貯金口座の取り扱いについて説明。

2.4 編集関係(荊木理事, 小林編集委員長)

- 1) 「生物と気象」電子版のホームページへのアップロードに向けて、準備を進めている。
- 2) 論文賞、奨励賞の候補者を学会賞審査委員会に推薦した。

2.5 2007年春季大会報告および開催経費決算(大場理事)

- 1) 参加者約120名、発表85件。報告は写真を付けて、学会ホームページに掲載する。
- 2) 決算の残金は本部会計へ繰り入れる。

2.6 2007年合同大会準備経過（青木理事）

- 1) 懇親会開催場所を府中市内の会場に変更した。収用人数が限られているので、参加希望者は早急に申し込む必要がある。
- 2) 日本学術会議農学基礎委員会と共催で、学術シンポジウム「新グローバル化のなかの農業知財：SCM/DCMの文脈化」を開催する（2007年9月13日）。

2.7 2008年全国（春季）大会（早川副会長，荊木理事）

- 1) 農業気象国際シンポジウム開催趣意書（案）について説明があり，了承。
- 2) 国際シンポジウム発表論文の「農業気象」への投稿に関する案内文（案）を承認。なお，論文掲載料の半額免除対象となる「外国人研究者」は，外国からの参加者に限定する。また，当該外国人を海外特別会員とすることにより，会則との整合性を図る。

2.8 講演企画委員会報告（井上理事）

2008年11月上旬につくば開催の予定で，関東支部と共催する企画を進めている。企画の内容について理事会関係者間の認識が統一されていないので，総務理事が調整する。

2.9 普及・教育活動委員会報告（青木理事）

- 1) 日本農業気象学会セミナー「気象・生物・環境に関わる新しい観測センサとその活用法」（2007年4月6日，東京ビッグサイト）を，センサエキスポ2006期間中に開催した。参加者32名（講師，委員を含む）。新規賛助会員3名。
- 2) 気象・生物・環境計測器ガイドブック（Web版）に関する企業ヒアリングを実施した結果について報告があった。この報告に基づいて委員会が参加企業との契約書（案）を作成し，次回の理事会で検討する。なお，同ガイドブック編集委員会が保持している事業費の残金は，学会本部会計に繰り入れる。

2.10 学術会議の動向（真木理事）

課題別分科会の報告（9月末）の準備を進めている。

Ⅲ. 審議事項

3.1 2007年度総会資料

大原総務理事より提案があった内容を一部修正，追加し，総会に提案する。なお，2009年春季大会については，次回理事会で審議することし，総会資料からは削除する。編集委員会から提案のあった2007-2008年度編集委員（案）を承認。

3.2 2006年度会計報告案および2007年度予算案

奥島会計理事より提案のあった，2007年度大会に提案する2006年度一般会計報告（案），剰余金処分（案），監査報告，および2007年度一般会計予算（案）を承認。なお，2006年度決算における学会誌発行業務費が予算額より大幅に削減できた理由について，編集理事が調査する。また，部会補助費については，庶務理事が部会の設立年月を調査し，補助対象となる部会を確認する。

3.3 会則改正案

宮田庶務理事より提案があった内容を一部修正，追加し，総会に提案する。なお，提案

には、次回の改選時から副会長を2名とする改正を含める。

3.4 学会賞（学術賞，普及賞）受賞者への賞牌と永年功労表彰会員への記念品

賞牌については今年度中に数年分を一括発注することとし，製作者の知人を通じて価格交渉を行う。永年功労表彰会員への記念品については，小林理事の提案を第一案とする。

3.5 基金積み増しのための募金活動の申し出に対する対応

10万円以上の募金者に対して，春季大会への参加費を無料とする優遇措置を設ける案を承認。

3.6 2009年合同大会への対応

2007年6月の農業環境工学系学会連盟の会合で，2009年9月に合同大会を東大で開催することが決まった。本学会も参加することとするが，合同大会と春季大会との仕分け，2009年以降の総会をどちらの大会で開催するかについては，次回以降の理事会で検討する。

3.7 「風に関するシンポジウム」の開催について

同シンポジウムの運営打ち合わせ（2007年6月21日）で当学会に要請があった次回開催を引き受ける。なお，2008年全国大会との同時開催は費用の点で難しいので，真木理事，早川副会長が代替案を検討する。

3.8 学会名の検討

清野会長から提案があった検討の進め方（手続き）を承認し，まず理事会で期限を設けて検討する。

IV. 次回理事会

2007年度第1回理事会を，9月12日18時から東京農工大で開催する。